

## 趣味紹介

# やさいづくりの記 その3



≪平成20年2月、完全に会社をリタイアして、土いじりメインの生活がスタートしました。≫

### 【夕顔の味噌汁】

真夏、田舎で毎日のように食べた夕顔の味噌汁が無性に食べたくなりました。秋田市在住の姪に種を送ってもらい、4月の下旬に蒔きました。田舎では手ごろな杉材を使った専用の棚を作って栽培しておりましたが、私は敷き藁(注1)をして、地這いで育てることにしました。4月の下旬には芽が出て、6月の下旬には真っ白な可愛い花が咲きました。花が枯れると、雌花にマッチ棒の先端くらいの実が着きました。そしてそれが見る見る大きくなり、7月の下旬には直径20cm、長さ60cmの立派な夕顔に育ち、待望の収穫となりました。

自分で漬けた、茄子やきゅうりのがっこ・近所の丘(古墳注2)で採ったわらびのたたき・そして夕顔とジャガイモの味噌汁で食べた朝食は、43年ぶりのおふくろの味で、まさに至福の時でありました。

夕顔で挿話をひとつ。ある日、外人の若者が自転車での煙の横を通り、「おじさん何しているか。」と声をかけてきました。「野菜を作っているんだ。手伝ってくれるかい?」という、「草取りをするよ。」と言って、雑草をむしり始めました。「どこから来たの?」と聞くと、バングラデシュから近くの工場に出稼ぎに来ているとのことでした。彼は私に問われるままに、バングラデシュでの暮らしや、日本の感想などを、たどたどしい日本語で話してくれました。30分ほどして、「もう帰るよ。」と言うので、「手伝ってくれたお礼にここにある野菜を何でも持っていいよ。」と言ったら、茄子やきゅうりに目はもくれず、夕顔を指さして、「これ大好き、国ではスープに入れて食べる。」と言うのです。「いくらでもどうぞ」と言うと、夕顔を何本も持って、喜んで帰って行きました。彼はその後3回ほど遊びに来てくれましたが、ここ数年顔を見せません。バングラデシュに帰って幸せにやっているのでしょう。

### 【もってのほかのこと】

平成21年の春、故郷の大仙市協和で農業をしている同級生が、食用菊の苗を送ってくれました。10月に2種類の花が咲きました。昔から知っている黄色の花と、初めて見る紫色の花でした。同級生に電話で「あの紫の菊も食べられるの?」と聞くと、「あれは、秋田でだばもってぎくってよばれでえるとも、正式にはもってのほかっていうのだ。」

たえしたうめもんだきや。」と教えてくれました。兄(37M)の話では、「昔、山形の殿様が食膳に出てきた菊の花を食べて「これは何であるか?」と尋ねた。家来は「これは菊の花びらで、百姓は好んで食べております。」と答えた。殿様は「下々はこのように美味しいものを食しておるか。もってのほかである。」と言ったことからこう呼ばれるようになった。」とのことでした。

香りは黄色の花の方が、食感はやさしやさしている紫色の花の方が優っておりましたが、いずれにせよ日本酒のおつまみには最適でした。

### 【恐るべし、カラスの知恵】

#### (その1、スイカ)

幼いころ、スイカというのは憧れの食材でした。近所にも栽培している人はなく、たまにお祝い事で親戚からいただいても、まず仏壇に供えて、ご先祖様が召し上がってから、私たちが分けてもらう、というルールになっていました。

平成22年、そのスイカ作りにチャレンジしました。5月上旬、JAストアで苗を5本購入し、畑に植えました。6月になると、枯れた雌花の根元にあった小さな実が大きくなり始めました。1本の蔓に3個の実がなるよう整枝してやり、雨の降らない日はたっぷり水やりをして大切に育てました。7月下旬には立派な大玉のスイカに育ち、八百屋のおじさんに聞いた食べごろになるのを楽しみに待っていました。しかし、ある朝悲劇が起ったのです。10羽ほどのカラスがスイカに群がり、しきりに突っついていました。そばに行くと、カラスは逃げましたが、すべてのスイカに穴があいており、悔しいことには真っ赤に熟して、まさに食べごろでした。カラスもまたスイカが美味し



実がなり始めたスイカ

くなるのを楽しみに待っており、完全に熟したのを見計らって、群れをなして食べに来たようです。結局我が家では、その年もスイカはスーパーマーケットで買って食べることになってしまいました。それにしても、なぜカラスは完熟のタイミングがわかるのでしょうか。不思議なことでした。

#### (その2、落花生)

平成21年の秋、茨城県に住む友人が、殻付の生の落花生を送ってくれました。そのまま塩ゆでにすると、ピールのおつまみにピッタリでしたので、その翌年の4月中旬にJAストアで種を買い、畑に蒔きました。約10日後に芽が出て、梅雨が明けた7月下旬には草丈が40~



開花間近、落花生

50cmになり、黄色い可愛い花が咲きました。花が枯れると、そこから角のような蔓がでて土の中に入って行きました。その土の中に入った蔓の先に豆ができるのです。それが落花生という名前の由来だとのことでした。種蒔きをしてから、100~120日で収穫ができるとのことでしたので、8月下旬にそろそろ掘り起こそう、と思っていた矢先、

第二の悲劇が襲いました。カラスの群れが、土の中から落花生を掘り出して食べてしまい、結局、落花生の殻だけが山積みされていました。スイカに続いて、またまたカラスに完敗でした。上州では落花生を栽培している農家も殆ど無いし、私がこの年になって初めて知った、落花生ができるプロセスを、カラスはなぜ知っていたのか、信じられない思いでした。

### 【カラス対策】

スイカ、そして落花生と、連続してカラスに完全にやられた私は、近所のプロの人に、事情を話して対策を教えてくださいました。最近防鳥グッズが色々開発されていて、JAストアで売っている、ということでした。平成24年夏、JAストアの防鳥コーナーで、店員の方が、カラスに最も効果があると言った、**カツ糸にキラキラ光る細かいチップを張り付けた商品**を購入し、スイカや、落花生、そしてとうもろこしを栽培したエリアに張り巡らしました。効果はできめんで、カラスたちは、近くの電線に止まって恨めしそうに眺めていました。おかげで、この年は念願の、自分で作ったスイカや、落花生を思う存分味わうことができました。スイカはその後毎年作っておりますし、落花生も今年の春、千葉市在住の鷲塚勝幸さん(39C)から、沢山の種をいただきましたので、またチャレンジしております。

### 【晴耕雨読の日々】

年をとって、朝の目覚めが極めて早くなり、寝室のカーテンの隙間から光が差し込むのを待ちかねたように、布団から抜け出して、洗顔・トイレ・愛犬の散歩・朝食・新聞・NHK連続テレビ小説と、これが会社リタイア後の私の朝のルーチンワークになりました。そして、天気が良ければ、真冬を除いては毎日畑に出て、昼食に家に帰るだけで、ずっと農作業をします。土づくり、種蒔き、苗植え、水やり、除草、野菜たちの手入れ、収穫、と色んな作業があります。ラジオを聞きながら、あまり難しいことは考えずに、のんびりと過ごすのです。

## 趣味紹介

うまくいけば喜び、失敗すればその原因と対策を考える、これも楽しみの一つです。映画の七人の侍で、村の長老が侍たちに、「雨が降らないと言っては心配し、雨が降り過ぎると言っては怯える。それが百姓ちゅうもんじゃ。」というシーンがあったように記憶していますが、現代に、まさか野伏りに襲われることはありませんけれども、遅しも・高温・低温・雨不足・台風と、心配の種は尽きません。でも、心配することがまた楽しいのです。



孫と玉ねぎの収穫

これが、休みもろくに取れなかった 現役のころに憧れた、いわゆる晴耕雨読の日々です。

### 【注1敷き藁】

地べたを這わせて作る瓜類(きゅうり、かぼちゃ、スイカ、メロン、夕顔等)の実が、直接土に接触して、腐ってしまうのを防止するため、野菜の蔓が成長する前に一面に藁を敷くことを言います。上州は米・麦の二毛作が多く、私は近所の農家から、腐りにくい麦の藁を分けてもらって敷き藁をしています。

### 【注2丘=古墳】

上州には大小の古墳が多く、至る所に、立派な前方後円墳や、小さい円墳が点在しており、かつては、その数8,000基もあったようです。昔、大陸からの渡来人が、農業技術を広めながら、現在の八高線に沿って上州まで来て豪族化し(八高線沿線も、上州一帯も、朝鮮半島由来の地名が多い)、古墳文化も広めたものかな?なんて勝手に推測しています。拙宅の近所にも、被葬者の名も知れぬ円墳があります。そこにどなたかが、山からわらびの根を移植したらしく、季節になると盛大に繁茂するようになり、毎年わらびたたきをいただいております。

### ◆記事

佐藤 弘 (昭和40年機械科卒)  
東京秋工会 幹事

補償コンサルタント・一級建築士事務所

**株式会社 償 研**

代表取締役 池田 昌憲 (昭和47年建築科卒)

本社 / 〒010-0062 秋田市牛島東2丁目1番30号  
TEL. 018-884-0966・FAX. 018-825-0903  
E-mail: main@shoken.tv

**DIME 株式会社** **ダイム**

建設業登録 東京都知事 許可(股-1) 第121344号  
建設コンサルタント登録(地質部門) 建18第8590号

代表取締役 広野 淳  
取締役 鎌田 国雄 (昭和37年土木科卒)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-9-10 砂川ビル3階  
TEL 03-5275-7756 FAX 03-3512-3202  
ホームページ: http://www.di-me.co.jp/

WASHIYA PROMOTION イベントや企業パーティーなど  
★全国どこでもタレント派遣します★

**有限会社  
ワシヤプロモーション**

代表取締役 鷲谷 透 (昭和56年機械科卒)

OFFICE / 〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町1-29 第2柴田ビル3F  
TEL / 048-649-8993 FAX / 048-647-0073  
URL : http://www.washiapro.com/ E-mail: hibiki@washiapro.com

給排水・衛生・空調・設備 設計・施工・保守

**HSK 株式会社 北勢工業**

買実剛健 二人で咲かす同期桜

取締役 会長 太田 光重 (昭和31年機械科卒)  
監査役 仙北谷 孝治 (昭和31年機械科卒)  
代表取締役社長 太田 博之 (昭和56年工業化学科卒)

秋田市仁井田本町 5-1-62  
TEL : 018 (839) 6516  
FAX : 018 (839) 6513  
http://www.hokusei-kogyo.com